

# 令和元年第5回今帰仁村議会臨時会会議録

招 集 年 月 日	令和元年10月18日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開 会	10月18日 午前10時10分		
	閉 会	10月18日 午後0時06分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透	10	與 儀 常 次
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員				
会 議 録 署 名 議 員	5	座間味 邦 昭	6	吉 田 清 尊
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	謝 花 良 竹	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	幼 保 連 携 推 進 室 長	宮 里 晃
	企画財政課長	田 港 朝 津	会 計 管 理 者	金 城 寛 樹
	学校教育課長	桃 原 秀 樹		
	社会教育課長	嘉 陽 健		
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

## 令和元年第 5 回今帰仁村議会臨時会

### 議事日程第 1 号

令和元年10月18日（金曜日）

1. 開 会 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		会議録署名議員の指名	
2		会期の決定	
3	議 案 第 4 3 号	今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について	説明・質疑 討論・採決
4	議 案 第 4 4 号	工事請負契約について	説明・質疑 討論・採決
5	議 案 第 4 5 号	令和元年度今帰仁村一般会計第 6 回補正予算について	説明・質疑 討論・採決
6	報 告 第 9 号	専決処分の報告について	報 告

○ 座間味 薫 議長 ただいまの出席議員は11名です。定足数に達しておりますので、直ちに令和元年  
第5回今帰仁村議会臨時会を開会します。本日の会議を開きます。

(開会時刻 午前10時10分)

日程第1. 「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、5番 座間味邦昭議員及び6番 吉  
田清尊議員を指名します。

日程第2. 「会期の決定」の件を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって会期は、本日1日間に決定しました。

日程第3. 「議案第43号 今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について」を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長

議案第43号

今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について

上記議案について、別紙のとおり制定したいので議会の議決を求めます。

令和元年10月18日提出

今帰仁村長 喜屋武 治 樹

提案理由

今帰仁村立認定こども園の新設に伴い、条例を整備する必要があるため、この議案を提出します。

今帰仁村立認定こども園設置条例

(設置)

第1条 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。  
以下「法」という。）第12条の規定に基づき、本村に認定こども園（以下「こども園」という。）を設  
置する。

(名称及び位置)

第2条 こども園の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名 称	位 置
今帰仁村立認定こども園 みらい	今帰仁村字越地180番地

(事業)

第3条 子ども園においては、次に掲げる事業を行う。

- (1) 法第9条各号に掲げる目標を達成するための保育及び教育
- (2) 法第2条第12項に規定する子育て支援事業のうち、村長が必要と認める事業
- (3) 前2号に掲げるもののほか、村長が必要と認める事業
- (その他)

第4条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、村長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 こども園の設置の届出その他の準備行為は、この条例の施行日前においても行うことができる。

詳細については、担当者より説明いたします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 今回の今帰仁村立認定こども園設置条例につきましては、令和2年4月1日開園予定の施設の設置に伴うもので、施設の名称や位置のほか、施設で行う事業を定めたものであります。なお、施設の管理運営について、必要な事項につきましては、提供する教育・保育の内容や利用定員、学級編成など、詳細につきましては園則等で定めてまいります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 これから質疑を行います。質疑はありませんか。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 議案第43号 今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について、質疑いたします。

ただいま室長のほうから説明がありましたが、定員とか、そういったもろもろを今から定めていくという説明でございましたが、まだ定員等が決まっていない状態なのか。伺います。

あと、給食費とか、保育料の無償化に伴って、給食費は実費徴収になるかと思いますが、それについても、決まっていれば天底保育園やまほろば保育園等と大体同じ額ぐらいになるのか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの3番與那嶺 透議員の質疑について、ご説明いたします。

まず認定こども園の定員でございますが、施設の定員につきましては、172名という定員の枠を設けております。ただし、募集人員等につきましては、現在140名を見込んで現状にあわせた形で保育士の確保などにも努めて11月から申し込み書の配布を行う予定です。

給食費につきましては、前回の議会でも若干ご説明いたしましたけれども、給食費のほうは主食費と副食費に分かれておりまして、その主食費、副食費につきましては、給食費そのものの食材料費の実費がその保護者から徴収する額となっております。本村において、公立保育所につきましては、現在徴収している副食費4,500円、主食費500円のところで今、徴収という形で考えております。今後、副食費の材料費につきましては、実費のほうを調査しながら、また必要に応じて徴収額につきましては、また検討していきます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 定員は最大172名というふうに理解しています。募集は140名だと。これは弾力化を持たせるための172名を上限として置いているのかですね。その点について伺います。

あと、給食費、副食費が4,500円であると、主食費が500円。この辺は村立だから安いのか。私立ですと、まほろば保育園でいいますと、主食費は1,000円となっていて、副食費が6,000円だと思いますが、この辺ちょっと2,000円ほど差がついているんですけれども、そうなった場合、こういったことが起きるかといいますと、やはり「みらい」認定こども園のほうに集中する可能性が考えられるということなんです。私立の園とその辺のすり合わせ等はやはり必要なのではないかと、その辺の見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの質疑について、ご説明いたします。

給食費の民間保育所との額に差があるということでありましたけれども、そもそも今婦仁村の村立、公立の保育所、もちろん民間もそうなんですけれども、栄養士に委託をしております、この年齢時に必要な栄養素、量等を含めて、献立を毎月作成しております。その献立から食材費等につきましては、地元産、国内産を優先して取り扱っておりますけれども、そういったものを一応、活用をして毎日の給食を行っておりますけれども、基本的にはその積み上げということでこの金額になっております。民間のほうがどのように仕入れをしているのか。どのような食材を使っているのかというのは、定かではありませんけれども、基本的に民間でも栄養士のもと献立を立てておりまして、またこの献立につきましては、保護者のほうにも公表していると思いますので、その辺のところの材料費の価格等によっては若干、変動があったのかなと思っております。

民間との金額のすり合わせなんですけれども、保育の特色の中に食育のほうもありますので、この辺につきましては、民間の方針も尊重いたしております、その辺のところについては、運営そのもの含めてかなり金額が国の基準から大きく上回るようであれば、それは認めているという状況であります。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 はい、大体理解いたしました。先ほどの定員の件に戻りますが、172名が上限だというふうに認識しておりますが、例えば140名の募集で150名、172名にあと22名ほど、まだ余力はありますよという中で、年度の途中で転入とか、例えばほかの保育園からここに認定こども園のほうに行きたいという申し込みをすれば、転園は可能なのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの質疑について、ご説明いたします。

基本、今帰仁村では1号認定児、2号認定児、3号認定児を踏まえて、施設の枠をつくっております。それに応じて保育士の確保をしている状況にありまして、基本的にその枠内で受け入れるということなんですけれども、まず年度途中でふえた場合に、今帰仁村の認定こども園についてはまだ定員の枠がありますので、その状況に応じてまた保育士を募集して、可能な限り受け入れていきたいと考えています。

他園からの転園ということに関しましては、今帰仁村全体が一つの保育地域でありますので、原則この園に入所いたしましたら、転園というのは考えておりません。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。(休憩時刻 午前10時24分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。(再開時刻 午前10時24分)

ほかに質疑ありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 先ほどのものとつながりますけれども、村営は今の認定こども園みらいと、今帰仁保育園としての運営ですよね。今後もその形で両方を運営していくのか。将来的には学校単位で大きな3つつくっていますよね。今帰仁小近くということで、こっちも民営に将来は移管する計画もあるのかどうか。それと今先、3番議員からもあったけど、どこの保育園にも自由に行けるのか。保護者が選んで行けるのか。場所、区域に限定があるのか。お伺いします。

それと民間と村営ですので、保育士の給料の格差があるのかどうか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの10番與儀常次議員の質疑について、ご説明いたします。

まず今帰仁保育所の今後の運営につきましてということですが現在、今帰仁村子ども・子育て計画第1期がことしまでの5年間の計画の中では、今帰仁保育所に関しましては、将来民間移行も考慮に入れて運営をしていくというところで示しております。ただ、来年以降の第2次子ども・子育て計画を今、審議しているところなんですけれども、その園児の将来の見込み等も考慮して、実際このまま民間移行したほうがいいのか。それとも規模を縮小して、運営していく。もしくは他園を定員増にしてふやすのかということは、また改めて協議に入るかと思っておりますけれども、現在、第1次計画の中では、民間に移行していくというところであります。

あと、区域につきましては、どこからでも入れますかということですが先ほどお話をしたように、今帰仁村は一つの保育区域でありますので、どちらの園を選んでも保護者の自由になっています。今帰仁村だけではなくて、空きがあるようでしたら、名護市、近隣市町村にも今帰仁村で保育認定を受けて、入所することは可能となっております。

あと村営と民間の保育士の給料の格差でありますけれども、2年ほど前、今帰仁村のほうでも給料の見直しをしております。民間等の動向も踏まえて、金額調整をして、保育士の方につきましては、嘱託保育士になりますけれども、そういった方たちに関しては働いていただいている状況ではありますので、さほどの差はないと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 認定こども園みらいは、最初から村でという形になったのか。両方公募したら村出身と、村外ということでやっていますけれども、公募したけどいなくて村営になったのかですね。

民間でやる人がいなくてやったのか。最初から村営という形で、「みらい」は進んできたのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの質疑について、ご説明いたします。

実際に、認定こども園につきましては、今帰仁村の幼児教育の核となる施設ということで、当初より公立のほうで運営すると。公立で運営しながら、その他民間保育所も同時に募集していくという方向で、現在のような2園の民間私立保育所、1園の公立の認定こども園という形になっております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 預かる時間、民間と認定こども園と差があるのかどうか。母親によっては5時に終わる人と、6時に終わる人がいますので、預かる時間は両方民間と、我々村営等が時間がばらばらなのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの質疑について、ご説明いたします。

保育所のお子さんを預かる時間につきましては、国で定められている11時間、その開始する時間帯については、各保育園で調整することが可能ですけれども、現在のところ村立保育所とかわりありません。なお、保育短時間につきましても、8時間この11時間内のうちの8時間を設定して、お子さんをお預かりしているという状況です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 議案第43号について、質疑いたします。

今回この認定こども園ということでありましても、この認定こども園ができたことによって、今帰仁保育所との兼ね合いとかも出てくると思うんですけれども、みんな新しい保育園に入りたがって、認定こども園に来たとした場合、今帰仁保育所に入る子供がいなかった場合、人数的にもそんなにたくさんいないと思いますけれども、そういうことも想定しているのかどうか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの8番與那勝治議員の質疑について、ご説明いたします。

認定こども園が新規でオープンすると、現在既存の今帰仁保育所にお子さんが少なくなるのではないかとありますが、この件につきましては、定員を定めております。公立のみじゃなくて民間も含めてなんですけれども、定員をオーバーする際には、利用調整という対応をとっておりまして、これはどの市町村でも一緒なんですけれども、親の就業状況、お子さん、兄弟の有無等を含めて、点数制で行っておりまして、その優先順位をつけて入所していただくと。この定員からあふれた場合につきましては、第3希望までとっておりますので、第2希望もしくは第3希望に割り当てるということであります。保育地域が村全体ということありますので、遠方になるということは、基本的には考えておりません。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 オーバーするとそうだと思いますけれども、足りない場合、子供の数が少な

い、子供の数が少なくて、この認定こども園だけで足りる場合、今帰仁保育所の存在といいますか、それはどうなるのか。その辺まで想定されているかどうか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの質疑について、ご説明いたします。

これは先ほどの3番議員のほうでも説明いたしましたけれども、定員枠につきましては172名というところでありますけれども、現在の居住地域等含めまして、認定こども園を今140名定員の募集という形で今、調整をしております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時33分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時34分)

ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第43号 今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について」を採決いたします。  
お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第43号 今帰仁村立認定こども園設置条例の制定について」は、原案のとおり可決されました。

日程第4. 「議案第44号 工事請負契約について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長

議案第44号

工事請負契約について

運天漁港－3.0m岸壁改良工事について、次のように工事請負契約を締結したいので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めます。

1 契約の目的	運天漁港－3.0m岸壁改良工事
2 契約の方法	指名競争入札
3 契約の金額	94,490,000円



4 契約の相手方 今帰仁村字天底86番地  
有限会社 上宏工業  
代表取締役 外間 宏正

令和元年10月18日提出  
今帰仁村長 喜屋武 治 樹

#### 提案理由

運天漁港－3.0m岸壁改良工事の請負契約の締結については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和47年条例第18号）第2条の規定により、議会の議決を必要とするため、この議案を提出します。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 工事概要を説明させていただきます。

－3.0m岸壁改良工事につきましては102mの工事を予定しております。基礎工事一式、堤体工一式、上部工一式、付属工一式、雑工事一式となっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 これから質疑を行います。質疑はありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 これ課長、図面を見て工事の請負ですけど、今の説明ではこれを深くするのか。岸壁－3.0mと書かれていますけど、掘って工事を岸壁改良工事をするのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 10番與儀常次議員の質疑に対しまして、説明いたします。

深くするのかということですが、以前に－3.0mの工事は終わっております。今回は岸壁の改良工事のみになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 今ある岸壁より中に、じゃあ岸壁が入っていく感じですか。そのまま。どういう工事の方法で行うんですか。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 質疑に対しまして、説明いたします。

どちらかというと、1mを海側にせり出す形になります。出して、先ほどの基礎工事が始まって、耐震性まで踏まえて工事を行うと。どちらかというと伸びていく感じになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 議案第44号について、質疑いたします。

耐震性ということが、今聞かれたんですが、この工事をなぜやらないといけないのか。説明を求めたいと思います。どういった経緯、国から指摘があったのかですね。そういったことの、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時40分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時40分)

久田哲史経済課長。

- 久田哲史 経済課長 11番嘉陽 崇議員の質疑に対しまして、説明いたします。

まずはこの事業の目的なんですけれども、安全、快適な漁港施設等の整備強化を図ることを目的に、平成27年度より事業を進めております。目的は以上となります。以上です。

- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時41分)

- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時42分)

久田哲史経済課長。

- 久田哲史 経済課長 説明いたします。

先ほどと重なりますけれども、岸壁の部分は耐震化として強化するということも、事業の目的に入っておりまして、その中のヒアリングの中でそれも入れるということで確認をしております。

そうすることによって、さらに強化が進められると考えております。以上です。

- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時42分)

- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時43分)

久田哲史経済課長。

- 久田哲史 経済課長 すみません。追加で説明いたします。

先ほど工事概要の中で、上部工とか、付属工とあと雑工を申し上げましたけれども、付属工の中に係船柱、船をとめる柱と防護材、それと現在のものを既存のものも撤去しますので、撤去して強化していくというふうになっております。以上です。

- 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 これ1m伸ばすですと、今現在、漁協のほうに滑車がついているクレーンがあるんですが、これは船からの荷物の積みおろしとか、そういったものを行うためにクレーンがついていますが、1m伸びるとその分、船のほうに届かなくなるおそれがあったりするんですが、そういったことも考えられているのかですね。説明を求めます。

- 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

- 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

このクレーンについてなんですけれども、既存のクレーンについても、ちょっと今手元に資料がありませんけれども、担当と調整しながら、どのような対策をするか検討していきたいと考えております。以上です。

- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時45分)

- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時46分)

11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 クレーンについては、今後ぜひ検討して、その分船からの荷おろしが難しくなってくるので、これはまた考えていただきたいと思います。

それと製氷機が設置されているんですが、1m伸びるとなると、氷を送るこの配管もまた1m伸ばさないと船に、安定して氷が供給できないのかと思いますが、この件についても検討されているのかですね。

説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 議員指摘のとおり、この工事に関して、弊害があることが考えられることについては、十分検討しながら進めていきたいと考えております。製氷機の件もしかり、クレーンの件についてもしかり、検討していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第44号 工事請負契約について」を採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第44号 工事請負契約について」は、原案のとおり可決されました。

日程第5. 「議案第45号 令和元年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長

議案第45号

令和元年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について

上記議案について、次のとおり提案し議会の議決を求めます。

令和元年度今帰仁村一般会計補正予算（第6回）は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ30,529千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,352,532千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和元年10月18日提出

今帰仁村長 喜屋武 治 樹

第1表 歳入歳出予算補正

(歳入)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
16 県支出金		1,051,913	28,019	1,079,932
	2 県補助金	744,256	28,019	772,275
19 繰入金		335,086	2,510	337,596
	1 繰入金	335,086	2,510	337,596
歳入合計		6,322,003	30,529	6,352,532

(歳出)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 総務費		1,147,006	10	1,147,016
	1 総務管理費	1,005,886	10	1,005,896
3 民生費		1,896,133	300	1,896,433
	2 児童福祉費	714,529	300	714,829
6 農林水産業費		652,717	28,019	680,736
	1 農業費	483,794	28,019	511,813
8 土木費		429,957	1,328	431,285
	2 道路橋梁費	239,122	838	239,960
	5 住宅費	25,895	490	26,385
10 教育費		645,596	872	646,468
	3 中学校費	42,520	660	43,180
	4 幼稚園費	31,324	62	31,386
	5 社会教育費	195,940	150	196,090
歳出合計		6,322,003	30,529	6,352,532

総括については、担当課より説明いたします。以上です。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 議案第45号 令和元年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について、歳入及び歳出の節において、金額が300万円以上のものについて、説明をいたします。

予算書案の6ページをお開きください。16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、補正額2,801万9,000円は、9節沖縄振興特別推進交付金の肉用牛生産振興特別対策事業の2,778万4,000円の計上が主なものでございます。

続いて、10ページをお願いいたします。歳出になります、6款農林水産業費、1項農業費、4目畜産業費、補正額2,778万4,000円は、19節負担金、補助及び交付金の肉用牛生産振興特別対策事業2,778万4,000

円の計上でございます。その事業は、先ほどの歳入にもございましたが、その事業は畜産振興を図るための事業でありまして、農業機械を導入することにより、採草地面積の拡大及び飼育頭数の拡大による生産性向上を図るため、肉用牛生産農家で組織する飼料生産組合に対して農業機械の導入及び機械格納庫の整備を目的として導入される事業であります。県補助のトンネル事業となっております。

以上、300万円以上の歳入、歳出増減の詳細についての説明といたします。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前11時00分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時10分)

これから歳入の質疑を行います。質疑ありませんか。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 議案第45号、歳入について質疑したいと思います。

6ページ、16款2項4目9節肉用牛生産振興特別対策事業、これの農家数とかではなくて、補助率とか、この辺の説明と、これはさきに組合が申請をして、実績が上がって初めて予算がつくのか。その辺のプロセス、ここに上がってくるまでのプロセスの説明を求めます。

7ページ、19款1項1目繰入金、今帰仁村公共施設等総合管理基金というのがありますけれども、これはこれが入って、歳出のどこに使われるのか。説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 8番與那勝治議員の質疑に対しまして、説明いたします。

まず歳入の6ページ、16款2項4目9節沖縄振興特別推進交付金の中の肉用牛生産振興特別対策事業について、説明いたします。まず補助率につきましては、国、県で30分の25以内の補助率となっております。目的につきましては、先ほど企画財政課長のほうから説明がありましたので、割愛させていただきます。プロセスにつきましては、まずは畜産農家のほうに募集をかけまして、計画書を作成し、県のほうと大まかなヒアリングを行って、今回他地区の他市町村からの申請分が事業計画に満たなかったということでもありますので、今帰仁村のほうにまた新たなといいますか。今年度の事業で対応できるということで連絡がありましたので、追加で申請をしております。それが通って、これからまた正式な申請計画に基づいて、しっかりと事業化できるかどうかということも踏まえて、申請許可を出して、県の判断を仰ぎたいということになっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について、説明します。

7ページの19款1項1目1節繰入金の今帰仁村公共施設等総合管理基金の繰り入れの歳出先でございますが、ちょっとページをさかのぼりますが、5ページをごらんいただきたいと思います。そちらのほうで1款から14款まで表示しておりますが、その特定財源のその他において、8款土木費で80万円、10款教育費のほうで60万円の計上がその140万円の計上でございます。道路維持費の修繕費と学校の空調機器の設備工事費に充てております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは沖縄振興特別交付金ということでもありますけれども、これは30分の25以内ということでしたが、これ上限額とか、そういうのがあるのかどうか。

それと、これは村から募集をかけたということでありましたけれども、これが何月ぐらいなのか。いい取り組みだと思うんですけども、他の自治体が使えなかった分を今帰仁村が使っていくというふうに、そういう取り組みはいい取り組みでありますので、どんどん玉を持っておくといえますか、こういうのはあったほうがいいと思いますけれども、これ例えば今回肉用牛というのがありました。それ以外にも使えるような一括交付金とか、この交付金があるのかどうかですね。説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時17分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時18分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして、説明いたします。

まず上限額ということの質疑がありましたけれども、現在この交付要綱を見る限りでは、金額の上限はうたわれておりません。恐らく予算の範囲内、県の予算の範囲内によるものだと思います。県の担当に確認しますと、やはりその事業計画の中で実際に必要なものがあるかどうかということを確認した上で確定するということはお伺いしております。

もしまた上限額等が明記されたものがあれば、後で提出したいと思っております。あと周知の方法につきまして、説明いたします。6月に畜産農家を案内いたしまして、実際にこの対象事業に該当するものがあるかどうかというのも確認いたしまして、今回1組合が申し込んでおります。それを踏まえて、県のほうにまずあらあらの概要書を出していきまして、その中で今回は他地区がありますのでということであったんですが、その地区が取り下げたということでありましたので、今帰仁村のほうの事業も可能であるということで、今回あらあら内示はもらっているということでもあります。正式な内示はないんですけれども、口頭でいけるということでもありますので、計画書を出して認定に向けて進めているというところでございます。この事業は、今年度で終了するというのも県のほうに確認しておりますので、県の一括交付金の事業ということでお伺いしております。

あと議員おっしゃったように、それ以外の事業についても、いろんな畜産公社の事業等もございますので、ただし補助率等もいろいろと上限等がありまして、農家が必要とする目的の中で相談をしながら、なるべく高い補助率を探して農家とも進めながら、県のほうと調整しているということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 ある程度内示をいただいて、計画書をつくっていくということでありました。今年度でこの事業は終わりということでもありますけれども、できましたらこの年度前に、あらゆるいろんな計画をつくって、こっちで持っておくとか。そういう作業等はしているのかどうかですね。農家が必要とするものでありますけれども、いろんなものを農家は必要としているところはあると思います。それで使える事業、こういう事業がありますよということを、前もって持っておけば、もう少しとれる事業も出てくるのではないかと考えていますけれども、その辺今回、内示をいただいたんですけれども、内示をいただく前に、翌年度に向けてできるのかどうか。やってほしいというふうに思うんですが、その辺の説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

おっしゃるとおり、いろんな事業といいますか、玉を持っておけば対応していけるというふうには考えております。担当のほうも牛の登録とか、いろんな共進会とか、北部もありますし、村の共進会もあります。あと競りのときもこの畜産農家とのかかわりは、かなり密接といいますか、かかわっております。その中でいろんな事業等が欲しいとかいろんな要望があります。ただし、なかなか事業化できないこともありますので、その辺を踏まえて、この交付される事業について、しっかり勉強して対応できるようにしていきたいと考えております。

ただし今回の場合については、県のほうから調整の中で、県のほうも内閣府と調整を行って、確認がとれ次第ということでありましたので、口頭による内示といいますか。ペーパー上の内示ではございませんので、県のほうは流用でき次第、内示を出すということでございますので、現時点で正式な内示は来ておりませんが、それを待って補正等で対応しますと、事業自体繰り越しはできないということでもありますので、今回の臨時会に上げているところでございます。

また今後も議員指摘のとおり、いろんな情報を収集して、対応できるものに対しては、スピード感を持って対応できるように、取り組んでいきたいと思っています。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 質疑いたします。

7ページ、19款1項繰入金の1目、先ほどもありましたが、今帰仁村公共施設等総合管理基金から繰り入れしているということですが、現在この140万円を出したところで、基金の残高は幾らほどになりますか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時23分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時24分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 3番與那嶺 透議員の質疑について、説明いたします。

7ページの今帰仁村公共施設等総合管理基金の今回の繰り入れでございしますが、繰り入れ後の基金残額であります。繰り入れ後140万円を引きますと、7億9,671万9,000円の残額になります。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 この約8億円近くあるということで、今後計画的にこれを切り崩していくのかと思うんですが、この基金に対してまたいろいろと入れていくかとは思いますが、これはこの基金ですね。増減はやはり今後ともあるのかどうか。ただずっと今回みたいに繰り入れをして減っていくのかどうか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

この基金の目的としましては、村内の公共施設の長寿命化や新設、または統廃合等を計画的に行うために、また道路等の用地購入であったり、公共施設の土地の購入であったりする場合にその基金から充てて

おります。それと各施設の最初にも申し上げました施設の修繕、そういった修理工事を行うときに、この基金が投入されますが、また増減につきましては、毎回補正予算のたびに各課で計画といいますか、要望される修繕費等をこの基金を充てて充当しているわけでございますけれども、村有地の売り払いをする場合に、財産購入基金のほうにまた充当していきますので、そういった形で増減が発生してまいります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今の説明で大体理解いたしました。

道路等の用地購入というのもありましたが、これもこの基金条例の中に組み込まれているのか。再度確認いたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

この基金条例につきましては、昨年度に基金をつくるときに、村庁舎の維持管理及び建設に関する基金条例と火葬場の維持管理及び建設に関する基金条例、それから村有財産購入基金の設置、管理及び処分にに関する条例、それと今帰仁城跡環境整備事業基金の設置に関する条例の、この4つの基金を廃止をしまして設置されておりますので、これまでその4つの基金で充てていた事業を一つとして運用しているところでございます。3つ目の村有財産購入基金の設置及び管理及び処分にに関する条例の中に、その道路用地等が含まれておりましたので、その説明になっております。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。

これで歳入の質疑を終わります。

次に歳出の質疑を行います。質疑ありませんか。6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 歳出10ページでございます。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費、19節の負担金、補助及び交付金、海外農業研修生受入支援事業とあります23万5,000円、この詳しい内容について、お伺いします。

それから4目の畜産業費、負担金、補助及び交付金、肉用牛生産振興特別対策事業についてであります。飼料生産機械とありましたけれども、そのほかいろいろとおっしゃっていましたが、ちょっと聞き取りにくいところがあったので、改めてこの事業の内容について。それと対象人数が何名なのか、お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの吉田清尊議員の質疑に対しまして、説明いたします。

歳出10ページ、6款1項3目19節の海外農業研修生受入支援事業について、説明いたします。この事業の目的といたしまして世界との人的ネットワークの拡大、農業分野の技術交流、農村文化の交流推進をすることによって、国際貢献と農業農村地域の活性化が図れるという目的となっております。その中で事業内容としては、アジア太平洋地域等からの研修生受入れ農業分野の技術交流を通して、先ほどの目的達成



のための農業農村地域の活性化を行うということでもあります。

その中でまず実施場所でございますけれども、今帰仁村の天底地区を予定しております。申し込みの受益者については、お二方ですね。個人名は差し控えますけれども、お二方が今回受け入れを要望しております。確定もお二方になっております。補助率につきましては、国、県100%補助になっております。村負担はありません。受益者の負担もありません。その中で使える用途も決まっております、対象経費としましては、実習生受け入れに関する経費です。旅費、研修費、負担金等、負担金に関しては保険料、受け入れサポートに関する費用等、あと管理費は補助の対象経費として、使用することが可能となっております。補助額に対しても実習生一人に対して最大14万1,000円を上限としております。二人目以降に関しては最大9万4,000円を上限として交付するというようになっております。

あと、その補助要件の中にたくさんございますけれども、まずは農家であるということと。その管理団体と契約しているということで条件がございます。ほかにたくさん条件がございますけれども、まずは大まかなこの補助要件が農家であるということと。あとその管理団体と契約をしていなければ受けられないということでもあります。

今帰仁村の場合には、県と調整をしながら、この農家は直接県と調整をしながら進めている状況でございます。あと、その辺については、事業期間、平成30年度から33年度の事業となっております。これは市町村は負担がありませんので、県のほうと直接、契約書を出しながら進めていくということになっております。現在、平成30年度現在の受け入れ予定人数としまして、県の資料ですけれども、142名県内で受け入れしているということでございます。海外農業研修生受入支援事業につきましては、説明を終わります。

続きまして、10ページの6款1項4目畜産業費、19節の肉用牛生産振興特別対策事業につきまして、説明いたします。先ほど、補助率につきましては8番議員のほうからも質疑がございましたので、その件につきましては割愛させていただきます。人数につきましては、今回1組合となっております。3名の方で構成する1組合となっております。今回また確定も1組合ということになっております。これは村の負担はございません。事業者負担については30分の5以上、プラス消費税は負担していただくということになっております。

今回の事業の導入の内容につきましては、まずは機械関係なんですけれども、トラクターは1台、ディスクモアですね。草刈り機がついているものが1台。ツインレーキこれは草を集める機械が1台、ロールベアラー、草を圧縮する機械なんです、それが1台、ラッピングマシン、草をビニールでラッピングするタイプのものが1機。ブロードキャスター、農薬散布用、マニアスプレッダは堆肥散布用がそれぞれ1台、現在のところ申請をしております。あと機械格納庫、鉄骨の格納庫を1棟、あと測量等のものも事業費に該当するということで、今回申請を上げております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 19節の海外農業研修生受入支援事業でございますけれども、これは作物のどういうことを研修するのか。それから受け入れ農家、先ほど答弁があったかもしれませんが、受け入れ農家、何名なのか。それからこれはアジア地域とかということでしたけれども、この国の限定があるのか。何カ国とかという限定があるのか。あるいはアジア地域全体でこの事業が可能なのか。お伺いした

いと思います。

それから肉用牛生産振興特別対策事業でございますけれども、いろんな機械とかありますけれども、この3名の農家ということでありますけれども、これはこの3名以外の組織、団体から要望もあったのかどうか。1組織だけで今回、要望があって、これが実現したのか。要するに、ほかの方々も希望する方々、あるいは団体があるのかどうか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 先ほどの私の説明の中で3名と説明しましたがけれども、3世帯の親子でありますので、人数的には4名なんですけれども、農家の人数としては4名になります。申しわけございません。あとその補助の要項の中に、少なくとも1名の認定農業者を含む3名以上の農家が組織する団体とありますので、それをまずクリアしなければ申請はできませんので、それを今回クリアしたのが1組合だということでございます。個々の要望はたくさんございますけれども、この事業に関しましては、この補助要件がございますので、それに該当するものが今回1件だったということでございます。

あと海外の農業研修生受入についてでございますけれども、国の政策の中で進められているものでございますので、その要綱の中でアジア太平洋地域等からの研修生の受け入れということでございますので、どこの国ということではないんですが、県の中ではインドネシア、ベトナム、あとフィリピンの方々が、先ほど申し上げた142名の中に入っております。

受け入れ農家の件ですが、そこも親子でやっているんですけれども、お二方が受け入れることにはなっております。実際、一人に関しては、11月から2人。作物については、菊を中心に、菊農家でございます。最長5年受け入れしまして、もう一方については、11月から2人。もう一方については、6月から1人受け入れを行うということでございます。その中で今、その補助について進めているということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この海外研修生受入支援事業ですが、今後も継続して、この事業がある予定であるのか。あるいは令和3年度まででしたか。そういうことで今後もこの事業が継続して続けていける予定になっているかどうか。お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時40分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時40分)

6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 肉用牛については、今年度事業が終了予定ということでありますけれども、県のほうではこれはとてもいい事業でありますので、継続してほしいんですけれども、これと同じようにあるいは少し変化させて、この似たような事業が県では計画されているか、お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 まず海外農業研修生受入支援事業につきましては、事業期間について、平成30年度から33年度までということの要綱となっております。今後についてはまだどのように進めていくかということは、ちょっと私のほうでは確認できておりません。

あと肉用牛生産振興特別対策事業については、今年度で県のほうは内閣府との調整の中で進めている事業でございますので、1市町村が今後の件について、どうのというのは答えにくいところでございますけれども、先ほどもありました情報が収集して、かなりいい事業でございますので、できる限りそれにかわるものがあれば、それにかわるものの資料請求をして、何とか農家の要望に応えられるような体制を整えていって、申請していきたいと考えております。終わりだから終わりということではなくて、十分収集して、いかに効率といいますか。よい条件の中での事業が導入できるように、今後も進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 10ページ、6款農林水産業費、1項農業費、4目畜産業費、これは前にも東地区でも導入したんですけど、渡喜仁地区で3名で、今の地区はどの地区なのかですね。西地区なのかどうか、お伺いします。

次11ページ、8款土木費、2項道路橋梁費の2目道路維持費、15節工事請負費83万8,000円、この場所と、どういう内容で補修するのか伺います。

それと13ページ、10款教育費、3項中学校費の1目学校管理費、15節工事請負費、空調機器設備工事、276万円ですね、中学校はこれで終わりなのか。それと18節備品購入費の中のマイナス210万円、これは何で備品を買わなくてもよくなったのかどうか。これは次、来年度にまた計画があるのかどうか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの10番與儀常次議員の質疑について、説明いたします。

地区ということでございますけれども、大体運天地区、運天近辺を予定しております。草地も含めますので、介在しますけれども、中心となるのは運天地区になります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 10番與儀常次議員の質疑に対して、説明いたします。

11ページ、8款2項2目15節工事請負費につきましては、場所につきましては、元の南西食品の倉庫ですか、かりゆしばしのところの、ここの道路が陥没してしまして、ちょっとカラーコーンで塞いでいる状況であります。もう一つは謝名のローソンの後ろの道なんです、理髪店のあるところ。ここも陥没してしまして、今はカラーコーンで抑えている状況なので、応急措置ということで工事費を計上している状況であります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 10番與儀常次議員の質疑について、ご説明申し上げます。

13ページ、10款3項1目15節工事請負費、空調設備の工事費でございますが、これは中学校の保健室の空調が故障しております。その分の取りかえ工事ということになっております。これが66万円計上しておりますが、金額が276万円になっておりますのは、18節の中学校の空調設備、これは9月議会で今帰仁中学校のパソコン教室の空調機器を可決いただいたものでございますが、財政側からの指摘といいますか、工事費が適当であろうということで、今回組み替えをしております。ということで、備品購入費で減、工

事費で同額の210万円を増という形で計上しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 建設課長、これは災害の工事ということなのかな。通常の工事で追加という形の工事なのか。台風とかで災害でこれが発生したということになっているんですか。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

陥没なので災害には該当しないかと思われて、工事費として組んでおります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 歳出について、質疑いたします。

11ページ、8款2項2目道路維持補修等工事、場所等は理解しました。これ先ほど質疑しました財源が今帰仁村公共施設等総合管理基金からでありますけれども、これはこのような工事、突発的な工事というんですか。その辺に該当するのでしょうか。この辺の説明を求めたいと思います。

同様に13ページ、これも同じような基金からの繰り入れではありますけれども、これも該当するのでしょうか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 8番與那議員の質疑について、説明いたします。

11ページの道路維持補修等工事の予算の計上、それと13ページの空調機器設備工事の予算計上の財源の手当てでございますが、先ほどの歳入のときに説明いたしました今帰仁村公共施設等総合管理基金条例の設置でございますが、その基金を設置する際に、庁舎の維持管理及び建設に関する基金の設置条例と、それと火葬場の維持管理及び建設に関する基金条例、それから村有財産購入基金の設置、管理及び処分に関する設置条例、今帰仁城跡環境整備事業基金の設置に関する条例、この4つの基金条例を統合した形で、その公共施設等総合管理基金条例として、4月1日から施行されております。以前の基金としては、それぞれの管理すべき財産に対しての設置でございましたが、修繕費等や主にその設置に関するときの用地購入であったり、道路の補修であったりということも含めての基金のほうを活用できるようにということで統合している状況でございます。ですので、このような今回の修繕工事は、その基金が充てられるようになっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今の説明でおおむね理解はしているんですけど、この基金条例を見ますと、この目的の中に新設、長寿命化更新整備統廃合等を計画的に行うためというふうにあるんです。これを見てみると、計画的というよりも、突発的なものだと思うんですけども、この辺がこの条例で、この基金でできるのでしょうか。その辺のニュアンスを私は質疑しているところでございます。この辺、目的に合致するのでしょうか。再度説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

確かにこの基金の目的としては、統廃合等を計画的に行うためということで、将来的に大がかりな設備

といいますか、公共施設をつくるときに活用されるものも含めてでございますが、例えば先ほども説明もしましたが、道路としてどうしても確保すべき土地がある場合は、そういったものを活用してやっていくという形と、それとこの突発的に発生するこの公共施設の修繕費等の工事費も、この基金で充てられるようになっていくところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今回、これで道路整備されるにあたって、今後突発的なものがどんどん出てくると思うんです。ここをやってくれと。事業にのらないから、これだけやってくれというふうにも出てくる可能性もあるんですが、この辺、たくさん出てきた場合、これをどうするのか。その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

突発的にたくさん出てきた場合という想定でございますが、この基金としては計画的に大規模な施設改修であったり、そういう場合には計画的なという表現になっておりますが、今回のように道路に陥没があって、仮設的に囲いはしているんですが、危険度があるということで、その基金を充てて予算計上しているところでございます。そのほかの道路整備の要望であったり、その施設を建築するものについては、それぞれの補助事業等を活用しながら、足りない分はこの基金を充てていくという考え方のもとで、設置されている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの8番 與那勝治議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 計画的に大きな事業に対して、この基金が使われるべきだと思っているんですけども、突発的な今回のようなことでしたら、これは財政調整基金とか、ほかに活用できる財源があったのではないかなと思うんです。今回のように仮に使われてしまうと、前例ができてしまって、あのときはこれでできたのに、次はできないのかというふうになると思うんです、議論の中で。その辺、どのように考えているのか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

突発的なというところでもございますが、ただ危険度があると、重要度があるということで、今回この基金を充てているところでございます。そのほかの例えばですが、一番直近では保健センターの自動ドアの修繕がございましたが、それも突発的な対応でございましたが、そこは開けっ放しもできない、閉めっ放しもできないということで、緊急性があるということで、そういったふうに対応した状況でございます。それ以外の事業といいますか、要望につきましては、今回の道路については災害にも認定されませんので、災害での補助も受けられないという状況もありますので、今回この基金を充てているというところでございます。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 重複するのですが11ページの道路維持費、この陥没という言葉聞いたんで

すけれども、どれくらいの大きさ、規模ですね。これが通行を妨げているのか。その詳しい現状の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 9 番山城 太議員の質疑に対して説明いたします。

1 カ所は元の南西食品の前は、穴は 1 m ぐらいですか。中にえぐれていて、橋側に壊れているんですが、中央のほうに中がえぐれていて、ちょっと厳しい状況ということです。ローソンの後ろのほうは、間知ブロックが積まれているんですが、この間の道が陥没しているという状況でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時57分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時57分)

ほかに質疑ありませんか。3 番與那嶺 透議員。

○ 3 番 與那嶺 透 議員 質疑いたします。

同じく 11 ページの道路維持補修等工事の件なんですけど、これは突発的なものを今回工事しているということなんですけど、これは恐らく優先順位とか、そういったものも出てくるかと思うんですけど、これについて、どういう経緯で判断していくのか。どういう経緯でこの「今回はこっちをやろう」というふうに決めていくのかを伺います。

それと 15 ページ、10 款教育費、5 項の社会教育費、2 目公民館費でありますけど、これの負担金、補助及び交付金、村公民館連絡協議会 15 万円になっております。これはどのような経緯で今回補正に上がったのか。当初予算ではなかったと思うんですけど、毎年計上したのが今回なくなって、今回の補正になっているかと思うんですけど、どのような経緯で今回の補正に至ったのかですね。要望があったのかとか。そういったものも含めて伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 3 番與那嶺 透議員の質疑に対して説明いたします。

優先順位ということだと思うんですけど、道路の整備につきましては、区長のほうから要望が上がったりして、その件については、優先順位をつけております。危険性ということがないんですけど。今回につきましては、ちょっと緊急で非常に先ほどから説明していますように、陥没があって通行に妨げが生ずると。また事故が生ずるような案件なので、今回も優先順位ということではなくて、緊急性をもって先ほども言ったように優先順位につきましては、字からの要望なり、それに関しては農道、村道含めて優先順位をつけて整備をしている状況であります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質疑について、説明いたします。

15 ページ、10 款教育費、5 項社会教育費、2 目公民館費、19 節村公民館連絡協議会の負担金、補助及び交付金 15 万円の計上に関する経緯と要望についてなんですけど、経緯としましては例年、村からは 15 万円の補助金を出しております。本年度は今帰仁村連絡協議会の前年度の決算で繰越金が約 56 万円程度ありました。ということで、繰越金が多く、今回は運営状況を踏まえて、補助金は計上するという事で保留としておりました。今回、第 49 回沖縄県公民館研究大会、宮古大会が 11 月 4 日に開催されます。宮古大会の参

加は、村公民館連絡協議会の会則にあります。活動目的の事業に合致して補助金は必要であるので、計上しております。

ちなみに参加は4名で約16万円で2泊3日の工程となっております。これに関しての要望は、公民館連絡協議会のほうからもありまして、計上となっております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 11ページを再度、質疑いたします。

この緊急性があつてということなのですが、これは建設課のほうで目視をして、すぐ判断したという理解でよろしいですか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

建設課が現場を回って、住民からの通報もあつたんですが、現場を確認してこういう建設課として判断して、予算を計上させていただいております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。

これで歳出の質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第45号 令和元年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について」を採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第45号 令和元年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について」は、原案のとおり可決されました。

日程第6. 「報告第9号 専決処分の報告について」を議題とします。

本件について提出者の報告を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長

報告第9号

専決処分の報告について

地方自治法第180条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので同条第2項の規定によりこれを報告します。

令和元年10月18日提出  
今帰仁村長 喜屋武 治 樹

### 専 決 処 分 書

地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について次のとおり専決処分する。

工 事 名	平成31年度今泊港川改修工事（7工区）
議決された契約の金額	214,848,000円
専決処分した契約の金額	2,862,000円

### 理 由

設計変更及び消費税増税に伴う増額のため専決処分する。

令和元年10月2日  
今帰仁村長 喜屋武 治 樹

なお、工事請負変更契約書が添付されていますので、お目通しください。以上。

○ 座間味 薫 議長 次に、議決事件の条項、字句及び数字等の整理についてお諮りします。

本臨時会において議案等が議決されましたが、その条項、字句、数字その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第45条の規定に基づき、その整理を議長に委任することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定しました。

これで本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

令和元年第5回今帰仁村議会臨時会を閉会します。

（閉会時刻 午後0時06分）



上記、地方自治法第123条第2項の規定により次に署名する。

今 帰 仁 村 議 会

議 長 座間味 薫

署名議員 座間味 邦 昭

署名議員 吉 田 清 尊